

草加市立小中学校

水泳授業及びプールの在り方に関する方針について

～プール施設の状況～

- ・新田小プール施設が破損のため利用できなくなり、民間委託へ移行
 - ・学校プールの約8割(26校)が、築後40年を経過 ※プール法定耐用年数47年
 - ・濾過機も約半数の15校が設置後30年を経過 ※濾過機法定耐用年数15年
 - ・ランニングコストが1校当たり年間110万円程度
- 更新や改修工事でも莫大な費用が掛かる

【プール施設】	R7.4.1 現在 (単位:校)		
	築年数	小学校	中学校 小中合計
築50年以上	7	5	12
築40～49年	9	5	14
築30～39年	1	1	2
築20～29年	0	0	0
築10～19年	4	0	4

～プール運営の状況～

- ・学習指導要領上、市内小中学校における水泳の実技授業は必要
- ・6月上旬頃から7月中旬頃に実施することが多いが、梅雨時期であることや、近年の猛暑により実技が行えない等、授業時間の確保が困難となっている。
- ・学校のプール管理(清掃・薬品投入等)は日常的に行わなくてはならないため、教職員負担は大きい。

以上の問題点を鑑み、学校プールの在り方を検討する

～県内他市町村の学校プール状況～

- ・草加市と同規模程度の県内自治体では、一部の学校で民間委託をしている状況となっており、どの自治体も移動は徒歩またはバスを利用して実施している。
(人数の多い場合は、学年を2分割するなどしている。)
- ・県内4市町の小学校で一部共同利用。
- ・学校優先の市民温水プールの建設を計画している市もある。

〈県内40市への調査結果より〉(R6年8月現在)

①小中学校ともに民間委託をしていない	10市
②市内の学校の1割以下が民間委託	10市
③全校ではないが民間委託している ※②を除く自治体	14市
④小学校のみ全校で民間委託	2市
⑤中学校のみ全校で民間委託	2市
⑥小中学校全校で民間委託	2市
⑦一部の学校で水泳実技を行っていない	8市

～小学校の民間委託等の考え方～

- ◎民間の屋内プールを活用することで、**天候に左右されず、計画的で安定した気温・環境**で授業を行うことができる。
 - ◎民間施設で授業を行うことで**維持管理に係る教職員の負担軽減**が期待できる。
 - ◎昨年度実施した新田小での民間施設活用は**児童・保護者・教職員から肯定的な評価**を得られている。
- ▼学校から民間プールへの移動に時間を要する。

➤学校のプールの老朽化状況や、市の財政状況を総合的に鑑み、自校プールだけではなく、段階的に市内民間施設の可能性を検討していく。

令和6年度 新田小 民間スイミング施設の活用
○実施時期 6月10日～9月18日(20日間)
○児童数 390人

	午前の部	午後の部
学校出発	8時30分	13時30分
施設到着	8時40分	13時40分
授業開始	8時50分	13時50分
授業終了	10時00分	15時00分
施設出発	10時15分	15時15分
学校到着	10時30分	15時30分

～中学校の民間委託等の考え方～

- ◎民間の屋内プールを活用することによる、**天候に左右されない計画的な授業の実施や維持管理における負担軽減**は小学校と同様。
- ◇中学校は教科担任制なので、自校でも民間でも**保健体育科の教員によるより専門的な指導**が行える。
- ▼民間施設への移動や授業準備に要する時間の確保が必要となり他の教科の履修に影響が出ないよう、**漏れなくカリキュラムを編成することが難しい**。また、民間へ委託した場合、**生徒に対する評価の仕方について協議が必要**。
- ▼現在、市内の3校に水泳部があり生徒は放課後に活動している。利用可能時間が限られる民間施設において、**場所を確保することが難しい**。

➤中学校は民間委託する上で課題が多いので、自校運営が望ましいと考えるが、安定した環境での水泳授業の実施や維持管理に係る教職員の負担とコスト面等を考慮し、スイミング施設・学校・教育委員会で運営方法などを協議し、民間委託の可能性も検討していく。

～今後の対応について(案)～

① 大規模な改修等を行わず、自校プールの活用で継続

原則自校プールの運営を継続。自校プールの状況により民間スイミング施設での委託等を検討。

② モデル事業として、民間スイミング施設の活用を検討

自校プールでの運営が厳しくなった場合に、民間スイミング施設での委託を調整するため、**モデル事業として4校の民間委託を検討。**

a) 新田小学校 (R5より実施)

学校プールの破損によりR5より民間委託
⇒プールの改修工事に数千万円を要するため、費用対効果を考慮し、民間スイミング施設にて民間委託を継続。

c) 草加小学校

プール本体(昭和47年建設)も古く、民間スイミング施設が極めて近いため、民間委託実施を検討。施設の受入状況や指導方法等も検証する。

令和9年度以降の実施を模索

西町小学校

プール本体(昭和46年建設)濾過機(平成元年)共に小学校で最も古い。民間スイミング施設への移動が小学生の足では難しい(約1.1km)ためバス移動で民間委託を検討。バス移動における課題も検証する。

b) 栄中学校

草加市の学校プールの中で最も古く、プール本体は昭和45年築、濾過機は昭和62年設置である。

また、改築工事の際には、工事中の仮設期間におけるプール施設の代替が必要。

⇒ 中学校における自校プール以外での活用の可否を検証する必要もあるため、モデル校として民間委託を実施。

※徒歩移動(0.9km・約15分)

※近隣の開発により、周辺マンションが中高層となるため、学校・保護者は盗撮等について心配している。

⇒ 令和8年度からの実施を検討

◎中学校で民間委託を実施するためには、学校行事や大会等とのスケジュール調整及び、委託業者との指導内容に関する丁寧な協議を要する。

③ その他の検討

令和8年度からのモデル校で民間委託について実施・検証した上で、自校プール・民間委託共に実施が難しいとなった学校については、近隣校との共同利用も検討。その過程において、自校プール改築の必要性や学校拠点プール等の必要性についても検討。

～スケジュールについて～

令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
庁内協議	栄中学校 民間委託モデル校実施を検討	草加小・西町小 民間委託モデル校実施を検討
会派説明		
教育委員会方針策定	モデル校アンケート フィードバック	モデル校アンケート フィードバック
予算検討 学校・委託業者と調整	予算検討 学校・委託業者と調整	学校・委託業者と調整 学校プールの在り方方針見直し